

文化学園大学 生成 AI 等利用ガイドライン<第1版>

生成 AI は目覚ましい発展をしており、社会の中で多く利用されつつあります。

教育研究の分野においても、教授及び学修の効率化や新しいアイデア出しに役立つと考えられますが、間違った利用をすると個人情報の流出や著作権侵害など、法令違反となる危険性を含んでいます。

また、大学における学修は学生が主体的に学ぶことが本質であり、生成 AI の出力をそのまま用いて学生自らの手によらずにレポート等の成果物を作成することは、学生自身の学びを深めることにつながりません。

文化学園大学は教育・研究で生成 AI を利用する際の基本的な注意事項を、以下のように示します。学部・学科の教育・研究の特徴や事情に応じて注意事項を補足し、生成 AI は適切に利用するよう、お願いいたします。

1. 入力データを使用する際の注意

生成 AI の入力データを安易に使用すると、次に示す問題となる場合があります。

- (1) 他人が作成した文章やデータ、画像には著作権があります。これらを生成 AI に入力して得られた生成物を使用する場合には、入力した著作物と同一または類似していると、著作権侵害となる可能性があります。
- (2) 登録商標・意匠(ロゴやデザイン)には商標権・意匠権があり、著名人の顔写真や氏名にはパブリシティ権があります。これらを入力して得られた生成物を商業利用すると、権利侵害となる可能性があります。
- (3) 生成 AI に入力した情報は他の生成 AI 利用者の生成物に反映されることがあります。アンケート等で収集した個人情報や共同研究における秘密情報、学内の機密情報を入力すると情報の漏洩となり、個人や企業、大学に損害を及ぼす可能性があります。

2. 出力データを使用する際の注意

生成 AI の出力データを安易に使用すると、次に示す問題となる場合があります。

- (1) 生成 AI の文章は、単語同士がつながる確率の高い順に並べて作成していますので、間違った内容や不適切な表現になる場合があります。使用する場合は、出力内容が正しいか、引用している根拠は信頼できるかを必ず確認してください。
- (2) 生成 AI は入力データやインターネット上にある情報を学習して、出力データを作ります。それには個人が権利を持つ著作物、商標・意匠、記事等が、そのまま含まれる可能性があります。これに気付かずに出力データを自分の作品やレポート等に用いると、剽窃(他人の作品や論文を盗んで、自分のものとして発表すること)にあたる場合があります。出力データを使用する場合は、以下の点に注意願います。
 - 既存の作品や論文と類似していないか、他のものの権利や名誉を損なわないかを調べて確認をする
 - 出力データを参考または部分的に引用した場合は、生成 AI によるデータを使用したことを出典に明記する

今後も、文化学園大学は生成 AI の進展及び社会の対応変化を注視し、本ガイドラインを適宜更新していきます。

以上